

旭川冬まつりと連携した、除雪イベント等による観光振興

三浦篤*1 阿部浩一*1 長内正宏*2

1 はじめに

1.1 背景と目的

旭川市は北海道のほぼ中央の上川盆地に位置する（図1参照）人口約35万人の中核市であり、札幌市に次ぐ北海道第2の都市である。行動展示により一躍人気となった旭山動物園がある街であるが、夏の観光に比べ冬期観光入り込みは半分以下となる。

そのような中、管内の土木業界では、「社会インフラの整備や維持管理に対する理解を一般の方々にもっと深めて頂きたい」、「もっと幅広い人々にドボクの仕事の中身を知って頂きたい」との思いが高まっていたこともあり、この度TEAM「ド・ボ・ク」屋さんを結成し、旭川冬まつり会場でのイベントを計画した。

本稿では、観光立国の推進・インバウンド観光時代を視野に入れ、観光で旭川を訪れた、雪のない地域や外国からの観光客の方々にも、旭川冬まつりをとおし、北国ならではの『雪』を体験いただいた、TEAM「ド・ボ・ク」屋さんの取り組み事例を紹介する。

1.2 旭川市の観光

旭川市近郊には富良野市や美瑛町といった有名な観光地があり、観光拠点としても各方面へのアクセスがよいことから、近年は日本国内はもとより、ビジット・ジャパンの取り組み等により海外からの観光客も増加しており、平成27年度の観光入込客数は553万人と増加している。

このなかで海外から来訪する観光客の増加は著しく、旭川市へ訪れる外国人観光客は、平成24年度から平成27年度までの4間で約5倍と大幅な成長を見せている。

国別に見ると中国、台湾、香港等のアジア圏からの観光客が多い状況となっており、特に中国人観光客の増加は著しいものがある。中国人観光客増加の要因としては平成26年度末に中国～旭川空港の国際定期便が就航したことが大きく影響しているものである（図2）。

旭川空港の国際定期便は平成24年度から平成27年度までで約8.5倍となっており、主な就航路線であるアジア圏から外国人観光客が北海道へアクセスしやすい状況が整備されてきている（図3）。

冬まつりが行われる冬季の観光入り込みでは夏の観光に比べ約半分であるが、平成24年度から平成27年度

まで約2割程度増えており、増加傾向となっている。（図4）。

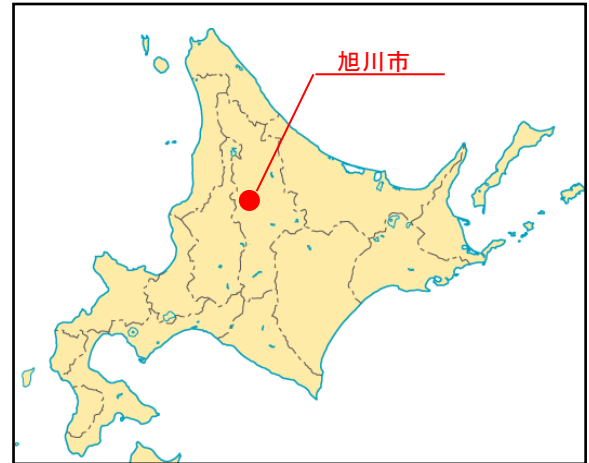


図1 位置図

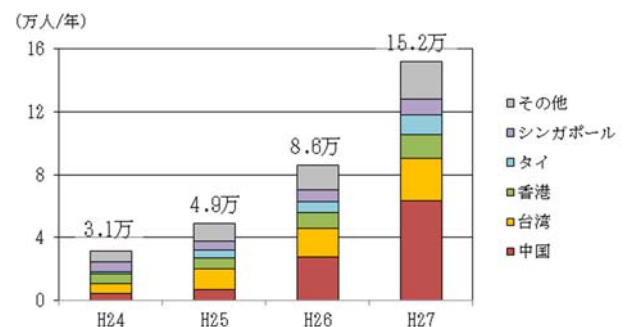


図2 外国人観光客の推移

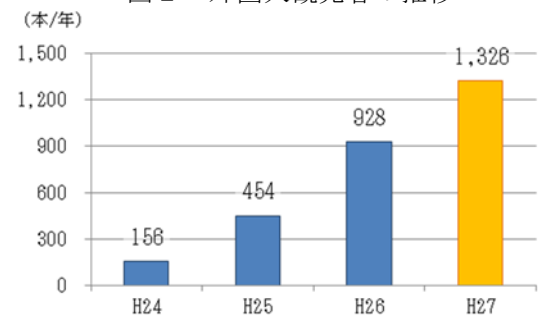


図3 旭川空港の国際定期便数

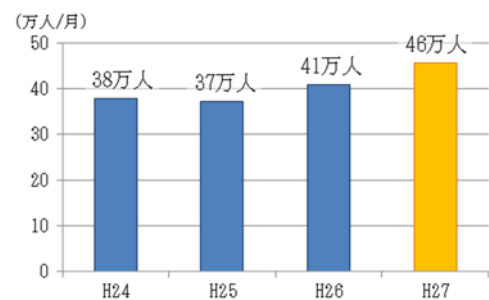


図4 2月の観光客の推移

2. 旭川冬まつりへの参加

2.1 旭川冬まつり（2016）とは

旭川冬まつりは2月6日（土）から6日間開催され、お祭りの最大の特徴は大雪像の大きさと平成6年には世界最大の雪の建築物としてギネス公式記録を取得している。

そのほか巨大なすべり台や雪像制作体験など、さまざまな北国ならではの体験ができ、公式世界大会である「氷彫刻世界大会」も同時開催され選手が腕前を競うなど、冬を楽しむことができるイベントが盛り沢山のお祭りである。

2016年の来場者は約90万人であり（写真1）。そのうち当イベント（図5）は2月6日、7日の2日間のみの開催であったが、2日間で約2千人もの来場者を記録した。



写真1 来場者状況

第57回 旭川冬まつり「イベントプログラム」

1. イベント名

TEAM「ド・ボク」屋さん
～ トボグはみんなのために ～

2. 内容と開催時間

[2/6 (土) 12:00～16:00、2/7 (日) 10:00～16:00]

- メインブース
Area1 : ①除雪車両展示会 ②運転席試乗会&撮影会
- メインブース
Area2 : ①子供ミニバックホウ試乗会 ②北海道土木遺産「旭橋」DVD放映 ③「土木の仕事」DVD放映 ④転ばぬ先の知恵in旭川 冊子配布
- メインブース
Area3 : ①測量体験会

3. 開催者

- デモブース : ①ロータリー除雪車デモンストレーション ～北国の除雪技 魅せます～
[2/7 (日) 10:00、11:00、12:00、13:00、14:00、15:00]

北海道開発局 旭川開発建設部 旭川道路事務所 旭川圏道除雪連絡協議会 一般社団法人 旭川建設業協会 上川測量設計協会

図5 イベントプログラム

2.1.1 メインブースArea1

○除雪車両展示会

○運転席試乗会&撮影会

除雪車両展示及び運転席体験試乗&撮影会は大人から子供まで大変好評であった。特に撮影会では試乗している写真をその場でプリント・お渡ししたので大変喜ばれた企画であった。写真の配布は900枚以上であった。

また、本ブースには日本語を含めた4カ国語のパネルを展示した効果もあり、外国人による試乗も多かった。（写真2、3）



写真2 除雪車両展示会



写真3 除雪車両試乗会&撮影会

2.1.2 メインブースArea2

○子供ミニバックホウ試乗会

○北海道土木遺産「旭橋」DVD放映

○「土木の仕事」DVD放映

○転ばぬ先の知恵in旭川リーフレット配布

○旭橋ペーパークラフト

今回のイベントで一番人気だったのが子供ミニバックホウ試乗会であった。ミニバックホウは実際に機械を

操作する「体験型」でもあり開催期間中は常時順番待ちの列が生じていた（写真4）。



写真4 子供ミニバックホー

旭川市のシンボルである旭橋を来場者に知ってもらうため行ったイベントについてはDVD放映やパンフレット配布など行うとともに旭橋のペーパークラフトの配布を行った。（図6、写真5）



図6 旭橋のパンフレット



写真5 ペーパークラフト配布状況

また、雪道になれていない地域や海外からの観光客が多いこともあり、雪道の歩き方ガイドである「転ばぬ先の知恵in旭川」を日本語のほか、英語・繁体字・簡体字・韓国語版を準備し配布した（図7）。



図7 転ばぬ先の知恵in旭川

2.1.3 メインブース Area3

○測量体験会

ここでは実際の測量で使用するトランシットを使って、会場である河川敷の対岸側に設置したターゲットの観察を行った。

「道ばたにいる『機械をのぞいている人』が何をしているのか知ってもらいたい」との思いから企画した。予想よりも小さな子供たちの来場があり、設置していた機械の高さがどんどん低くなっていったのが印象的であった（写真6）。



写真6 測量体験会

21.4 デモブース

○ロータリ除雪車デモンストレーション

デモブースでは除雪車や除雪ドーザでの除雪のほか、ロータリ除雪車で石狩川への投雪を行った（写真7）。これまで実施したことがないほどの豪快な「放雪」状況に、観客の皆さんからも大きな歓声があがっていた。

また、除雪ドーザへの操作指示体験では、子供たちに人気の企画となった（写真8）。



写真7 ロータリ除雪車デモンストレーション



写真8 除雪ドーザへの操作指示

3. 成果報告

3.1 アンケート調査結果

イベント会場では来場者の方にアンケート調査に協力して頂いた。その結果から、今回と同様のイベントがあれば、また参加したいと思いますか？という設問に対し、当イベントに来られた方の約90%が「そう思う」と回答しており、来場者の高い関心を持つイベントとなったものと思われる（図8）。

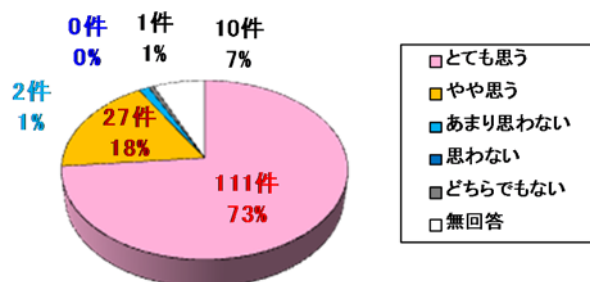


図8 アンケート調査結果

また、催し物別の満足度調査ではそれぞれの項目でね半数以上の方が満足・やや満足と回答している。また、『①除雪車両の展示会』は97%が満足・やや満足と回答、体験型のイベントである『②除雪車両運転席試乗会&撮影会』、『③子供用ミニバックホウ試乗会』は約9割以上の方が満足やや満足と答えている（図9）。

このことから、体験型のイベントは特に人気が高かったことが判った。

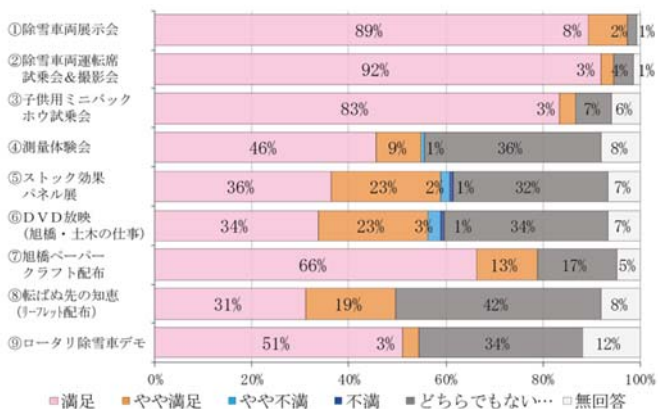


図9 イベント項目別アンケート調査結果

4. まとめ

当イベントは初の試みであったが、アンケート調査結果や来場者数から、大盛況のイベントであった。

今後に向けては、体験型のイベントが人気となった一方、待ち時間の長さや体験できる人数に制限があるなど、一部の方には不満を感じさせることもあったことから、多くの方に喜んでもらいつつ、満足度もあげることの難しさを実感した。

また、もう一つの目的である社会インフラの整備や維持管理に対する理解や建設業における担い手確保のため、「ドボク」の仕事を知って頂くことに繋がるものとなり、大変有意義であった。

今回の雪対策の取り組みにより、冬期の地域観光振興への貢献と道路除雪への地域住民の理解等につながっていく事と期待するとともに、今後はより関心が得られるようさらに工夫を重ね活動を続けていきたいと考えている。